

# 令和2年度事業報告

認定こども園木の実

## 1. 教育・保育の質の向上

研究テーマ「選択保育 ～子ども主体の保育の追求～」

2等級職員を筆頭としたリーダー会議を開催し、子どもが生き生きと好きな遊びを選び存分に遊びこめるような意見交換や情報収集を行っていった。その中で、①子どもが今、何に興味を持っているのか、②どのような関わりをすることによって学びや育ちにつながるのかの2点に着眼点を置いて教育保育に取り組んでいった。子ども一人ひとりの姿をより丁寧にみる機会にもなり、子どもの興味や、成長、発達について職員同士の共通理解にもつながった。子どもたちの思いで遊びを作りあげてきたことを、YouTubeで配信を行い保護者に向けての見える化を行った。コロナ禍の状況下、園での様子がわかり嬉しいとの声を頂くことが出来た。

## 2. 労働生産性の向上

負担軽減を目的に業務ICT化を導入した。慣れるまでは逆に負担を感じることもあるが、ICTを得手とする職員にスキルを発揮してもらいながら進めていった。離職防止への行動や取り組みを文書化した。

## 3. 人材育成・業務改善

重大事故につながる午睡時マニュアル、水遊びのマニュアルを文章型からチェックリスト型に見直しマニュアルを改訂した。職員がキャリアアップ研修で習得した知識を生かし、参加した職員がチームとなり次年度の食育計画を立案した。

## 4. 子育て支援

コロナ禍で、子育て支援の行事が開催出来なかった。行事としてではなく、子育て相談に多い内容をテーマに掲げ、年4回子育て通信「このみっこ」の配布を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止で登園自粛期間(4月、5月)に在宅保育をされた家庭に対して、職員が家で手軽に出来るあそびの動画を作成し、認定こども園木の実「あそびの森へようこそ」とタイトルをつけ年6回YouTube配信を行った。また、保護者のみならず地域の子育て家庭に向け、個人情報同意の下、園での子どもたちの様子を年8回YouTube配信を行った。中でも0歳児の1日の様子の動画再生数は5700回あり関心の高さが伺えた。